

登録コード	E8682100	開講年度	2026				
授業科目	図画工作・美術教育ゼミナール					担当教員	大島 賢一
英文授業名	Seminar for Freshmen of Basic Fine Art Education					副担当	中野 良寿・猪瀬 昌延
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	1年生
講義室	共通教育401演習室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術教育に関わる様々な経験を通して、その意義、目的について概要を理解する。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				美術教育実践を支える知識・技能を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	図画工作・美術教育コース教員によるオムニバス講義によって、図画工作・美術教育を学ぶ上で基礎・基本となる知識・技能を身に付ける。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（大島賢一） 第2回：絵画（中野良寿） 第3回：心の健康・大学生活のリスク対策（オンデマンド） 第4回：彫刻制作における作者と作品（猪瀬昌延）「レポート課題」 第5回：図書館利用ガイダンス（大島賢一） 第6回：情報セキュリティガイダンス（オンデマンド） 第7回：造形基礎 集中（中野良寿・猪瀬昌延・大島賢一） 第8回：絵画（中野良寿） 第9回：インスタレーションI（中野良寿） 第10回：材や用具の理解と実制作（猪瀬昌延） 第11回：作品の完成と講評（猪瀬昌延）「作品提出」 第12回：造形基礎 集中（中野良寿・猪瀬昌延・大島賢一） 第13回：美術教育を学ぶ意味（大島賢一）「レポート課題」 第14回：造形基礎 集中（中野良寿・猪瀬昌延・大島賢一） 第15回：まとめと授業アンケート（大島賢一） 第7回、第12回、第14回分の授業はまとめて集中講義として長野キャンパスで行う（予定・具体的日時については授業の初回にてアナウンスする）。						
(6)成績評価の方法	各教員による課題の平均点で評価を行う。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	各担当教員が課す、課題やレポートの成績により評価する。例えば、レポートにおける評価基準としては、 （ ）問題の設定が適切、（ ）論述方法が適切、（ ）根拠のある論述、（ ）自分の見解の提示の4観点を設定する。これらを一定基準以上に満たし、かつ、教員を感心させる質のものであれば「卓越している」、4項目を満たすものであれば、「かなり上にある」、3項目において一定水準以上であれば「やや上にある」、3項目において標準的であれば「水準にある」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	事前の準備と事前事後の学習が必要となる。各担当教員の指示に従うこと。						
(9)履修上の注意	・授業時間以外でのレポート作成や作品制作等が課されるので、意欲的にのぞむこと。 ・授業者及び講義順序が入れ替わることがある。 ・各授業においては、用具等の持ち物が指定される場合がある。その場合は、各自用具を準備すること。 尚、指定した用具を授業当日に忘れた場合は、欠席扱いとなる。 ・第7回、第12回、第14回の授業はまとめて集中講義として長野キャンパスで行う予定である。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワー随時，研究室 北校舎N218， 連絡先 oshima@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	随時紹介する						